

ごあいさつ

皆さまには、平素より筑邦銀行をご利用、お引き立ていただき、誠にありがとうございます。でございます。

このたび、当行の平成20年度の業績と現況などについてご説明した「筑邦銀行ディスクロージャー誌ちくぎん2009」を作成いたしました。本誌を通じて、私どもに対するご理解をより深めていただければ幸いに存じます。

さて、昨年度は、米国のサブプライムローン問題に端を発した金融危機が全世界に波及、実体経済に深刻な影響を及ぼし、日本の経済状況は円高、輸出不振、株価下落等により短時間で急速に悪化しました。また、当行の主要な営業基盤であります福岡県においても、内外需要の不振等により地元企業の景況感が大幅に悪化したことから、金融機関を取り巻く環境もますますその厳しさを増しました。

このような環境の下、当行の平成21年3月期決算につきましては、有価証券関係の損失増加と大口倒産の発生による与信費用の増大により大変厳しい結果となりました。幸い、銀行の本業である預金・貸出金残高につきましては堅調に推移しており、これもひとえに皆さま方のご支援の賜ものと深く感謝しております。

当行は今後も「地域に根差しお客さまに選ばれ続ける銀行」を目指し、その実現のためにお客さまに対する満足度の高いさまざまな金融サービスのご提供に努め、お客さまの利便性の向上や事業の成長、また、地域社会の発展に貢献してまいります。

引続き、なお一層のご支援、ご愛顧を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成21年7月



頭取 佐藤 清一郎